

下記の計算表は何を求めるかによって使用方法が異なり、入力とちょっとした変更が必要となりますのでご不明なときはご連絡頂ければ幸いです。注意：入力できるマスは度数表示マス以外の白く抜けているところです。

ラジアン係数計算表

度数	分数	秒数	度数	分数	秒数
60	60	60			
0	0	0			
			合計秒数		0
			変動秒数		4,125

度、分、秒を入力する箇所ですが、通常必要ないかも知れません。

<入力 度 分
0.00 0.00

<入力
<R出力↑

4080
8
68
変動数

気泡移動で出た傾斜角度が示されます。 の入力で出た値

現状は目盛幅、Rに連動して秒数を表示します。
R 50で気泡1mm移動で4,125秒の傾斜変化といった具合に。
又、必要感度を手入力すると R (入力マスの) の上が必要曲率半径を示します。
尚、同箇所に入力すると同箇所にあるマクロ (計算式) が消去されますので、下のR出力のマスをコピー貼り付けして頂くと 及び と連動します。

1	8	45.30	度数表示
度数	分数	秒数	1.14592

計測底辺810mm

16.2 m/mコウバイ高

(m/m)
目盛り幅 206.265

ラジアン係数式

$$R = \frac{206.265 \times \text{目盛り幅}}{\text{秒数}}$$

$$R = \frac{206.265}{\text{目盛り幅}} \times \text{目盛り間隔}$$

$$2\pi \gamma \times \frac{\text{目盛り角度}}{360} \times \frac{1}{10} = \text{目盛り間隔}$$

：気泡移動の距離 (今回は気泡1mm移動で) と入力気泡がどれだけ移動したら傾斜角はと計算する時に

曲率半径 (R) を入力します。
感度に応じてRの大きさを決めたいときに使用
Rが小さければ感度低くなります。

上記マス (青のマス) をコピー貼り付けをして頂くと左記変動数下の表示に連動します。